

【純愛×おねシヨタ】恋する星空

台本

制作 しろがね屋号

■トラック〇 大型宇宙船

僕、こんな所で何してるのっ!?早く避難しなきゃでしょうっ。

…お、お父さんお母さんは?はぐれちゃった?

そっか…。でも、いつまでもここに居るわけには…。っ。

とにかく…。とにかく、一刻も早く避難しよう?いい?ここは危ないの…。っ。

お姉さんに付いてきて…。っ、ほら、お願いだから…。っ。

■「トラック」地球にさようなら。

…っ、やっと目を覚ましたんだね、僕。ずっと眠ったままだったから、お姉さんすごく心配しちゃった。…大丈夫?痛いところとかない?

…そっか、よかった…。

僕ね、寝てるるとき泣いてたんだよ。…やっぱり、心配だよね。ママとパパのこと。

…きつと、きつと大丈夫だよ。非常用の小型宇宙船もたくさんあったんだから。

あんな事故だったけど…。きつとあの船にいた皆、逃げられたんじゃないかな。…ね。

うん、強い子だね、僕は。えらいえらいっ。

…。

そういえばさ、お姉さん、僕にすっかり自己紹介したことなかったよね。

お姉さんはね、苗字は…宮本っていうの。で、名前がセシル。ふふ、そうだね、日本じ

や珍しい名前だね。…でもほら、お姉さんどう見ても日本人の見え目じゃないでしょ?…そ、

ハーフ。お父さんは日本人だけど、お母さんは…。どこの国の人だと思う?

…うん、イタリアじゃないよ。アメリカでもない。…え、もうヒント? じゃあね…、

ジャンヌダルクとか、エッフェル塔がある国。って、もう答えみたいなのだね。

ん、イギリス?ふふっ、残念、正解はフランスでした。

…うん、そうだよ。私のお母さんはフランス人だったの。もう、とっくの昔に天国に行っちゃったけどね。

…ま、とりあえずの自己紹介はこのくらいかな。気軽にお姉さんでも、セシルお姉さんでも、宮本さんでも、呼び方はなんでもいいからね。

僕のお名前は何ていうの?

…ふんふん。

へえ、とってもいい名前。

…。

僕は、お姉さんが必ず第二の地球、アナンケまで送り届けてあげるから、心配しなくていいんだよ。絶対にお姉さんが僕のこと守ってあげるからね。

よしよし、よしよし。

…そうだ、こっちにおいで。窓の方。

…。

多分、見るの最後になっちゃうと思うから…しっかり見ておきなさい。

私と僕の生まれた星、地球。

もう、あんなに太陽に飲み込まれてる。

…お父さん…。

…ほら、地球さんにバイバイしよ。…ばいばい、ばいばい。ありがとうね、地球さん。

…。

…お別れできた？…うん、頑張ったね。

じゃあ、速度を上げるね。速度を上げたらすぐに地球も見えなくなっちゃうから、ほんとのほんとにお別れ。

そんなに早いって、光の速さより早いんだからね。想像もつかないほど早いんだよ。

アナンケに着くのは僕も聞いていると思うけど、2年後。

宇宙船で出会ったばかりだけど…一緒に、頑張っていこうね。

それじゃあ…。地球から惑星アナンケに向けて。

出発。

■トラックへ 太陽系を抜け出して

…一か月間、こうやって他の宇宙船と連絡取ろうとしてるんだけどね、どうにも…受信電波が弱いよね。

なんか…太陽系を抜けてからどんどん弱くなってる気がするの。多分、私たちとは別のルートで進んでいるんでしょうけど。

…この広い宇宙に、私と僕、二人だけかあ。

…まあ、それも悪くないかもね。お姉さん一人だったら、寂しくて寂しくてしょうがなかったと思う。

その点、僕がいるのはなんだか心強い。一緒に旅してみて、だんだんと可愛いところわかってきたし。

ふふ…、照れてる…っ。

…僕、こっちおいで。お姉さんの上に座っていいよ。…ほら、いいからいいから。

…ん。あったかいね、ぼくの身体。こんなに小さい体なのに、しっかり頑張って生きてるんだね。

いい子だね。いい子いい子。

…くふう…、僕、いいにおいする…。男の子のにおい。
…ぎゅー。

…おっと、なに？もしかして嫌だった…？

えー、恥ずかしい？全然、お姉さんになんて恥ずかしがる必要ないのに。
人肌が恋しいだけ。旅の伴侶としてもっとスキンシップとろうよお。

むぎゅう…。すりすり。すりすり。

…え…、む、胸？…当たってた…？

あー、うん、それは私の配慮が足りてなかった。ごめんね。

…でも、もし気が変わったら、お姉さんに抱きしめさせてね。

■トラクッ♡ はじめての情事

あら、僕。こんにちは。ドミノ遊び終わった？

えっ…、ねえ、待って、待ってよ。

最近さ、僕…私のこと避けてない？目も全然合わせてくれないし、お姉さんが挨拶しても
すぐどこか行っちゃうし。…お、お姉さんのこと嫌いになっちゃった？僕が気に入らないと
ころがあったなら何でも言って？

…え…違う？お姉さんのこと、別に嫌いになってない？ホント？…じゃあ、それならなん
で避けるようなことしてたの？

…っ、ちん…っ!?

っ、つまり…お姉さんのこと見ると、その…おちんちんがふくらして、痛くなっちゃう
からってこと…？

そ…そっか。僕だって思春期真っ盛りの男の子だもんね…そりゃあ、密室の空間にお姉さ
んいたら、ちょっと変な気持ちになっちゃう…？のかな。

…。

今も、おちんちん、固くなってるの…？

…そっか。

…。

…それは、困るよね。

…お、お姉さんが、治し方教えてあげよっか…？

うん、いいよ。じゃあおてて握って、一緒にお姉さんのお部屋行こっか。

僕のおてて、すごい冷たいね。…緊張してるの？

…そっか、僕、ちゃんとわかってるんだね。…今からお姉さんといっちな事するの。
もうお顔真っ赤になってる…。

…。

ここだよ、お姉さんのお部屋。

段差あるから気を付けて入って…んっ、どうしたの、僕。お姉さんに抱き着いちゃって。
…はやくえっちな事したい？
それじゃベッドに行こ。

…ほら、この前みたいにお姉さんの上にお尻から座って？
…ぎゅー。

この前は、これが恥ずかしかったんだよね。…でも、今は大丈夫なんだ。
…お姉さんのおっぱい柔らかくって気持ちいい？

ふふっ…。おちんちん、ズボンの上から触っちゃうね。

…ん、かっちかち。僕くらいの子でもこんなになっちゃうんだね。…可愛い、僕。
ズボンの上から指這わせてるだけなのに、そんなに声出るほどムズムズしてるんだ？
さわさわ、さわさわ、さわさわ。

息、荒くなってきたね。

ズボンとパンツ、早速ぬぎぬぎしちゃおうっか。ほら、ぬぎぬぎ、ぬぎぬぎ。

わっ、今、パンツのゴムに押さえつけられてた反動で、元氣よくおちんちん出せたね。
ん…。桜色で可愛いおちんちん。…まだあんまり皮…剥けてないんだね。…剥いてみても
いい？…ありがとう、痛かったらすぐに言ってね。…。

…ん…よいしょ…どう？まだ大丈夫？

…ああ、ごめん、痛かったね、ごめんごめん。でもほら見て、おちんちんの先からこのち
よつと段差になってるところまでを亀頭っていうんだけど、僕の亀頭さん半分出せたよ。
頑張ったね。おちんちんなでなで。

…じゃあ、そろそろ固くなっちゃったおちんちんの治し方、教えてあげる。教えてほしい
人？…お返事は？…はい、よくできました。

じゃあお姉さん、僕のおちんちん握るから、その上から僕も手添えてみて。

いくよ…ほら、まずはこうやって…うーえ…しーた、うーえ、しーた。これをもうちょっ
と早くするからね。いくよ…うえ、した、うえ、した、うえ、した、うえ、した。

…どう？気持ちいいでしょ、お姉さんの手。今度は自分でやってみよ？…こうやって、お
ちんちん握って…。

最初は痛くないようにゆっくりと…うーえ、しーた、うーえ、しーた。そう、上手だね。
じゃあ、少しだけ早くしてみよっか。

うえ、した、うえ、した、うえ、した。…うえ、した、うえ、した、うえ、した。

そうそう、その調子。うん…っ、すごいね、もう一人前だね。

こうやって、おちんちん擦って気持ちよくなることを、オナニーって言うんだよ。で、擦
ることを特にシコシコするって言うの。

…覚えられたかな？じゃあ、今僕がしてるみたいに、おちんちんこすって気持ちよくなる
ことをなんて言うんだっけ？

…そう、オナニー。しっかり覚えられたね。

じゃあ、お姉さん手伝ってあげるから最後まで気持ちよくオナニーしてみようね。お姉さんのリズムに合わせておちんちんシコシコしてみて。

しこ、しこ、しこ、しこ、しこ、しこ、しこ、しこ。

しこ、しこ、しこ、しこ、しこ、しこ、しこ、しこ。

…どう？だんだん気持ちよくなって来ない？…気持ちいい？ホント？よかった。それじゃあ、正しくオナニーが出来てる証拠だね。

…ふふ、僕、オナニーに夢中だね。そんなに気持ちいいんだ。

もっと気持ちよくなれるように、お姉さん、後ろから僕のぷっくりしたいやらしい乳首、いじってあげるね…。

…つんつん、つんつん。…今、ピクツてなったね。こんなにまだ小さいのに、もう乳首感じちゃうんだ。おませな乳首だね、いじめたくなっちゃう。

…おっぱいの周りに円を描くように、ゆっくりくる、くる。くる、くる。こうやっておっぱいの周りを撫でてあげるとね、乳首がもっと気持ちよくなるんだよ。

くるくる、くるくる、くるくる、くるくる。

…ん？もどかしい？…しょうがないなあ。ちょんちょん、ちょんちょん。…今、あつ、あつてかわいい声出たね。お姉さんの指、そんなに気持ちいいんだ。

次は、親指で乳首、ほじるね。

くぼくぼ、くぼくぼ。かりかり、かりかり。

僕、すごい気持ちよさそう。おちんちんの先っぽからネバネバしたお汁しるがどんどんあふれて、シコシコする手もどんどん早くなってる。

今の僕、男の子じゃなくてすっかり男の顔になってるよ。オナニーする男の、勇ましい顔。

…ん、おちんちんから、なんか出そう？…うん、おしっこじゃないよ。

多分、精液が出るんじゃないかな？…出たことない？白くてドロツとした、ゼリーみたいなもの。

そっか、まだなんだ。じゃあいい機会だし、精子出しちゃおう。精子出る瞬間、すごい気持ちいいらしいよ。

…ん、怖い？射精怖いのか？大丈夫だよ、お姉さん応援しててあげるから。

ええ、やっぱり嫌なの？ここまでして、射精しないとむしろ身体に悪いよ？

…。

僕が射精しないと、お姉さん悲しいな。僕がかっこよく精子ピュッピュするところ、お姉さん見てみたいな。

じゃあこうしよ。最後だけ、お姉さんがシコシコして射精まで導いてあげる。僕は何もしないでいいから、お姉さんだけを感じていて。

…うん、自動的に精子出ちゃうから、本当に何もなくていいんだよ。…それならいい？

ようし。

…おちんちん、あつつあつだね。今にもピュッピュしちゃいそうだね。

…じゃあ、強くシコシコしていくね。

…ん、ぼく…。いっぱい出してね、お姉さんの手で、いっぱい気持ちよくなってね…。

がんばれっ、がんばれっ。あともうちょっとだよ。

ほらほら、どんどん精子のぼってきてるよ、がんばれっ、がんばれっ。

出そ？もう出ちゃう？いっぱいお姉さんの手の中で気持ちよくなっていいからね、いっぱい手に精子かけていいからねっ。

…がんばれ…っ、がんばれ…っ。

…びゅっびゅっ、びゅーっ。…びゅっ、びゅっ。

すごいね、精子ちゃんと出せてえらいね、かっこいいね。

…ふふ、まだでてる、びゅっ、びゅ。…出し切った？…。

あ…、そっか。今ので精通したんだね。僕も精子出せるようになったんだね。

こんなに体小さいのに、えらいね。

またおちんちん固くなっちゃったら、次からは自分でするんだよ。

ね…、じゃあほら、お姉さんのハンカチでおちんちん拭いて。

…はい。じゃあ、お姉さんお夕飯の支度するから、呼んだら来てね。

■トラック▶座標…プレアデス星団

僕、こっちに来て。こっちこっち、大窓。

見せたいものがあるの…っ。ほんと、ほんとうにすごいよっ。

いそいでいそいでっ♪

ちよっと見えづらいかな？照明消すね。

…。

…うわあ…っ、ほらあ…っ、幻想的でしょう？。

…ここはね、プレアデス星団って言う明るい星がいくつも集まった場所なんだよ。

あの赤くて大きな星が、“あとに続くもの”アルデバラン。

星座で言ったら丁度、牡牛座の中にいるの。

牡牛座…、牡牛座だよ。あの、冬の澄んだ夜空に輝く、美しい星たち。

お姉さん、お星さま大好きだから…今、すごくワクワクしてる。

感動しすぎて、泣きそうなくらい…。

…こんな体験、地球だったらできないでいたね。

…手、繋いでみてもいい？

…お姉さんね、こんな状況だけど…実は僕と一緒にこうして宇宙を旅するの、悪くないな
って思ってるんだよ。

ちゃんと第二の地球にたどり着けるかわからない、途中で小惑星の衝突を避けられるかもわからない。…それでも、お姉さんは今、すごく楽しい。

この広い宇宙を縦横無尽に駆け巡ってること、可愛い僕と生活してること。

…こうして、絶対に手の届かないものを目の前にしていること。

この生活も、絶望とか諦めだとか…それよりも、夢とか冒険みたいな、ロマンに満ち溢れている気がするの。

…お姉さんね、地球では…天文学を勉強する大学生だったの。

小さい頃から宇宙に興味があってね、頑張って勉強していい大学に入って、気の済むまで勉強してた。

勉強ってよりも、趣味っていう感覚だったけどね。

だからね、最近よくニュースになってた太陽の膨張とか、第二の地球についても大抵の知識はあったんだ。

それで、地球にギリギリまで残って…地球に残りたいっていう沢山の人たちを説得してたんだ。

それから乗ったあの大型宇宙船、あの不幸な事故。

それで僕と私が出会えたこと…。

すべてひっくり返して、運命だったんじゃないかなって思うんだ。あの今見えてる無数の星も、運命が私たちと出会わせてくれたんじゃないかなって。

まだ僕にはあんまり分からないかもしれないけど、もう少し大人になったら、きっとわかるよ。

■トラックのアルデバランに照らされて

すう…、はあ…。すう…はあ…。

すう…はあ…。すう…はあ…。…ううん、ぼく…？

どうしたの、眠れないの？

…ふふ、どうしたの、すごい甘え方。怖い夢も見ちゃった？それとも、おトイレに行きたいのかな？

…違うの？

…お姉さんのおっぱいが、気になって眠れない…？

お姉さん他の女の人と比べて少しだけおっきいもんね。

…ん、そっかあ…。じゃあ、眠れるまで何か、お話してあげよっか…？

お話はいい…？むー、おませさん。

…お姉さんのおっぱい、見せてほしいの…？

…えー。さすがに恥ずかしいな。

…む、…んん…。わかったわかった、お姉さん、僕の恥ずかしいところ見たもんね、不公平だもんね。

じゃあ…脱ぐけど。お姉さん恥ずかしいから、笑わないでよ…？

…ああ、熱。なんか、急に変な気分になってきた。

お姉さんの服、スカートと一緒に becoming なるから、上から脱いでおっぱいだけ出すね。…えっと、僕、ここちよっと下に引っ張って、そう。

あ、ちょ…ごめんね、急におっぱい出てびっくりしちゃったね。

…うう、そんなに見つめたら…お姉さん恥ずかしい。えっ、あつ、も、もちろん触っていいんだからね。遠慮せず触って。

…ん、そんな驚掴みにしちゃって。…柔らかい？おっきくてフワフワで気持ちいい？

僕、顔近い。おっぱい、そんなに珍しい？インターネットで調べればすぐ出てくるんじゃないの？

…そっか、実物を初めて見たからそんなに興奮してるんだ。いいよ、おっぱい、僕の好きにしているよ。

あ…、んっ、乳首、ツンツンって…、んん…っ。…そうだよ、お姉さんも乳首触れたらちゃんと気持ちいいよ。僕の指でもお姉さん感じるよ。

ん…、あつ、…や…っ、ああ…っ。…ごめんね、お姉さん気持ちいいとすぐ声出ちゃうの。もつといじっていいからね、お姉さんの乳首。

あう…、ん…っ、つまむの、きもち…っ、やん…、はあ…っ。

お姉さんの乳首、さつきより固くなってるのわかる？…乳首もね、僕のおちんちんと同じように勃起するんだよ。

…舐めてみる？

いいよ、お姉さんのおっぱい、まるごと舐めて？…あ…っ、ヤダ、僕のべろ、すごく気持ちいい。

あう…、ん、あ…っ、あつ、あつ、…く…っ、んはあ…、はあ…、ああ…っ、んん…。

…いいよ、上手だよ。お姉さんすっごくおっぱい気持ちいい。僕はえらいね、上手におっぱい舐められて。

…あ…っ、う…。…かわいい、ぼく。お姉さんの乳首ちゅうちゅう、赤ちゃんみたいに吸って可愛い。

おいしいの…？お姉さんの乳首おいしい？舌の先で乳首コロコロ転がすのおいしいの？

…そっか、おいしいんだ。…ん…っ、じゃあさ、今度は前歯であまーく噛んでみて。

そっと。そおっとだよ。

…あぐ…ッ!? …ごめん、ちよっと待ってっ、…お姉さんにはまだ早すぎたかもしれない。気持ちよすぎて、変な声出ちゃった。

はは、ごめんごめん、びっくりさせちゃったね。ていうか、あーあ、ムード壊しちゃった。せつかくお姉さんがリードしてあげようと思ったのに。

んはは、こら、笑わないっ、もう。…続きしよ。

見て、お姉さんのおっぱい。僕のよだれでべっとべとだ。…このおっぱい、僕の物にさせられちゃったね？

お姉さんの乳首も、僕にいっぱい舐めてもらって気持ちいいって。

お姉さんもうやらしい気持ちになってきちゃった。…ねえ、僕、いまここでおちんちん出してみて。

えー、やなの？どうして？おっきくなっちゃったから？

…今おちんちん出してくれたら、お姉さんがおっぱい使って、この前よりもっと気持ちいいことしてあげようと思ったんだけどなあ。

ふふ、おパンツ降ろすの早いね。…おちんちん、真っ赤に腫れあがって辛そう。今、お姉さんが精子たっぷり出させてあげるからね。

僕、お姉さんのベッドにおおむけに寝て。

…ドキドキしてる？それとも何されるのかわからなくて、ワクワクしてるのかな。

…うん、お姉さんはドキドキしてるよ。僕とエッチな事するの、とっても興奮する。

お姉さん、僕の上で四つん這いになるね。

おっぱい、僕の目の前にあるけど…どうしたい？…あっ…、そんな…、ちゅばちゅば吸っちゃって。…ん、僕の甘えん坊さん。…や、ん…っ、そんなに吸っても、お姉さんからミルクは出ないのに。

そんなに好きなんだね、おっぱい。いいよ、僕が満足するまで吸ったり舐めたりしていいさい。…その代わり、お姉さんも僕のバッキバキに勃起してるおちんちん、好き勝手させてもらうね。

この前みたいに、手でおちんちんシコシコシコシコ。お姉さんのながーい指でゆっくりねっとり犯してあげる。

…僕はどうして、お姉さんの寝こみを襲っちゃったのかなあ？

…うん？お姉さんのこと考えてたら、おちんちん勃起したから？…勃起しちゃった時のおちんちんの治し方、この前教えてあげたよね…？

今お姉さんがしてるみたいに、お手で輪っかを作ってシコ、シコ。するって。

いい子はみんな、自分でシコシコするんだよ？僕はいいい子じゃないの？

いい子だよ、いい子だったら今回のことはしっかり反省して、次から正しく性欲処理しようね。

社会に出てから女の人を襲っちゃうと、前科がついて就職が難しくなっちゃうんだよ。

そしたら僕、困っちゃうでしょう？ だから今のうちに沢山エッチなことしておこうね。

…ふふ、必死におっぱいにむしゃぶりついちゃって、可愛い。僕が大好きなおっぱいですよ。

乳首ちゅうちゅう、ちゅばちゅば。おいしいでちゅか？

知ってる？こうやっておっぱい舐めたり吸ったりしながらおちんち手でシコシコされ

る事を、授乳手コキっていうんだって。

僕は授乳手コキ好き？

…そっか、好きだよ。白くて柔らかくておっきなおっぱい、気持ちいいもんね。お姉さんの指でおちんちんいじり倒されるの、気持ちいいもんね。

…もっとシコシコの速度上げてほしい？…だーめ。だってお姉さん、わざとゆっくりシコシコしてるんだもん。

今はただ、おっぱいの柔らかさとおちんちんの気持ち良さだけ感じていればいいんだよ。それに、激しくしたらすぐピュッピュしちゃうでしょ？

…くふふ、我慢我慢。

…やだ、その反応、可愛すぎ…っ♡

お姉さん、僕とちゅうしたいなあ。こんなに可愛い反応見せられたら、もう我慢できない。僕の初キス、貰っちゃうね。

…ちゅっ。

そんなに顔こわばらせないの。キスっていうのはね、もっとリラックスしながらするものなんだから。

ほら、今度は僕がお姉さんにキスしてみて。

…ちゅ。

ふふ、上手上手。おちんちんも、ピクッピクッってなったね。おちんちんシコシコされながらキスするの、気持ちいいんだ。

今度はもう少しエッチなキスしてみよう？ねっとり、濃厚なキス。

んん…ちゅば…、ちゅ、ちゅば…、れちゅ、ちゅれろ…、ごく、はあ…ちゅぶ、ちゅぶぶ…、れろ、ちゅばあ…。

…気持ちいいね。舌絡ませるの、気持ちいいね…。

ぷちゅ…、ちゅぶ、ちゅばあ…、れろ、れおれおれお…。

もう僕、お姉さんにマージングされちゃったから。私だけのものだよ。

おちんちんから、いやらしい液がダラダラ溢れてる…。もう出そ？精子、出ちゃう？

ようし。それじゃ、ラストスパート。

おっぱいで挟んでくちゅくちゅしてあげる。お姉さんのおっきなおっぱいまんこに、中出ししちゃおうね。

じゃあほら、おっぱい持ち上げてから、下からおちんちん挿れてみて。僕のよだれでヌルヌルしてるから奥までスルッと入るよ。

そう、固いおちんちんでおっぱいかき分けて、そのままヌプヌプ…。

…はい、全部入りました。

…おっぱいを、こーやって上下に動かして…っ。

どう？ 気持ちいい？

んっ、んっ、んっ、んっ、んっ、んっ♡

いっぱい出たら、いい子いい子してあげる。

…もう限界？イキそうなんだね。

いいよ、いっぱい中出ししちゃお。

ほら、出しちゃえ♡ 出しちゃえ♡

元気に精子、ぴゅっぴゅ出しちゃえ♡

ほらほらほらほら、イツちゃえイツちゃえ♡

…んっ、ぴゅっぴゅっぴゅうううう、びゅくっびゅくっ、びゅっつびゅうううっ。

…お姉さんのおっぱいとお顔に、僕の精子たくさんかっちゃったね。

ん…はむ、ちゅば、ちゅば。

はい、これでおちんちんも綺麗綺麗。

…ふふ、どうしたの…？トロンとした顔して。

…あ、ああ、眠くなったんだね。そっか…。なんだろ、賢者タイムってやつかな…。

よく知らないけど。

もう寝る？…わかった。あ…、うん、おやすみなさい。

ばいばい。

…。

…はあ。

…またやつちゃった…。

■トラック6 座標…ヒアデス星団

あら、僕。どうしたのー？…へえ？そうなんだ？お姉さんが何してるのか気になっちゃったんだ。

別に大したことじゃないよ。二か月前からオートパイロットだったから、ベクトル調整…んん、宇宙船の進んでる方向を手動で調整してるだけ。

第二の地球じゃなくて、謎の星に着いちゃったら嫌でしょう？

…

…えっと…どうかしたの？

…うん。……うん。

あー…そっか…、不安だね。こんな広い宇宙に、私たち二人きりだもんね。…うん、確かに…ごはんも足りるかわからないね。…家族のことも、心配だね…。

…。

いろんな事考えてたら、急に怖くなっちゃったんだね…。
そっか。

…もう、そんなに暗い顔しないの。きつと、大丈夫だから。まだ旅も長いし、考えてもわからないことは大丈夫だって、そう思うようにしよう？

それに、僕は難しい事あんまり考えなくてもいいんだよ、全部お姉さんに任せておけばいいから。

…お姉さん？…お姉さんは怖くないのかって…、もちろん不安でいっぱいだよ。

わからない事、たくさんあるし。それに、アナンケにたとえ着けたとしても、そこに家族なんていないし。

…でも、それでも今、私には僕がいるから。だから前を向いていられるんだよ。

お姉さんにとってね、僕は生きがいなんだ。この旅の唯一の希望。

僕が居なかったら、私だけでここまで来れなかったかもしれない…。だから、あと少し。

あと少しだけ頑張ろう？

…よしっ、僕は勇気のある偉い子だねっ。なでなでっ。

■トラック7 加速する関係

…フランス語を教えてほしい？ どうしたの？ いきなり。

ううん、困っちゃったな…、お姉さん、フランス語よく分からないんだよね…。

生まれてからすぐ日本に来たし、年末にお母さんの実家に帰りに行くくらいだったから…。お母さんも、日本語で喋ってくるしね。

見た目に反して、中身は生粋の日本人なのよ。

まあ…誰もが知ってるフランス語くらいなら教えてあげられるけど、それでもいい？

…わかった。じゃあいくよ…。

こんにちは は、ボンジュール。…言ってみて？

うん、上手っ。

こんばんは は、ボンソワール。はい…。…うん、そうだね。

さようなら は、オールボワール。どうぞ…。〇×。

ありがとう は、メルシー。言ってみて。…完璧。

はい、今日はこの4つ。明日また聞くから、しっかり覚えておくのよ。

んんん…っ、はあっ。お風呂でも入ろっか？

先に入ってきていいよ。ゆっくりあったまっていच्छゃい。

…。

…どうしたの？…お姉さんと、入りたい…？

ああ、ううん…。は、入る…？お姉さんは…別にいいけど。

…ねえ、僕のズボン、膨らんてる。

…。

じゃあ、行こっか…。

ん…しょ。

…。

ほら、お姉さん裸だよ。

…お姉さんが脱がしてあげるね。バンザイして。…はい、バンザイ。

次はズボンとパンツ。二つとも一気に脱がしちゃうね。せーの、脱ぎ脱ぎ…。

もう、元気良すぎ…。バッキバキに勃起してるね、僕のおちんちん。

ん…ちゅっ。

…びっくりした？

はむ…ぴちゅ、れろれろ…。じゅぶぶ、れろれろれろ…。

汚くなんかないよ。僕のおちんちんなら、いくらでも舐めてあげる。

ぐちゅ…っ、じゅば、じゅぶぶ…ちゅば、ちゅば、ちゅばあ…っ。

どうせお風呂でもっとエッチなことするんだから、いいでしょ？これくらい。

もう、お顔真っ赤っか……♡

さ、お風呂入ろう。

ん、ああ…っ、あったかい。僕もおいで、こっち。

溺れないように、お姉さんに抱きついていてね。はい、ぎゅううう。

僕？…こっち向いて？

ちゅう、ちゅっ、ちゅっ、ちゅううううっ。

僕の赤くてぶっくりした可愛い唇…とつても気持ちいい。僕はお姉さんとちゅううするの、

好き…？

…ふふっ、お姉さんも大好きだよ。

ちゅ、ちゅうう、ぴちゃ…っ。

お口、開けてみて？お姉さんのえっちな舌で、僕の中かき回してあげる…。

れええろ、れろっ、ぴちゅ…っ、ぺろぺろぺろ。れろれろれろ…。

僕の口、おいしい…っ。可愛い可愛い男の子の味。僕もお姉さんとのキス、気に入ったみたいだね。そうだよね、ちゅう、気持ちいいもんね。

ぺろぺろ、ちゅう…っ、れろれろれろ…、好き…れろれろれろ…っ。

ちゅう気持ちいいね、お姉さんのペロの、おいしいね。

僕もペロ、出してみて。…ペロ同士で、舐め舐めしてみよう？

ちろ、ちろちろ、えろれろれおれおれお…、好き…っ、はむ…っ、くちゅくちゅ、くちゅくちゅくちゅ。

…ん、ばああ。

いっぱいお姉さんのこと、感じられたね。お口、犯し尽くされてお顔、とろろんってなってる。

ちゅう遊び、面白いね♡

でも…このままじゃ、のぼせちゃうね？もったいないけどお湯、抜こっか。

…。

だんだん水位が下がって、お姉さん濡れた身体の生々しい感触、わかっちゃうね。

もっといっぱい体の柔らかさ感じられるように…好きだけ抱きしめていいからね。お姉さんに、いっぱい甘えていいからね。

…うん、おっぱいにも好きなだけ甘えていいよ。おっぱいにお顔すりすり。

舐め取るように、掬うようにべろべろ、れろれろ。

もう、お姉さんにべったり。お姉さんのこと、好きなんだね…っ♡

ふふ…っ、オチンチンもカチカチになって、お姉さんのお腹にグリグリ擦り付けてる。

そうだね、じゃあオチンチン、気持ち良くしてみよっか。

ううん…お姉さん、僕のオナニーみたいないなあ。僕が私に興奮して、全力でシコシコオナニーするところ見てみたいなあ。

…だめ？恥ずかし？…見せてくれたら、お姉さんとセックスできるとしても…？

するよねえ…オナニー。じゃあお姉さんの前に座って、シコシコしてみよっか。

狭い浴槽の中だから、至近距離で僕のオナニー見えるんだあ♡

いいよ…それじゃあ、お姉さんの身体でオナニーしてみて。見たいところ、どこでも好きなだけ見せてあげるから。

ふふっ、僕が…私でオナニーしてる…っ♡

しこしこしこしこ。しこしこしこしこ。とにかく夢中だね。夢中でシコシコ、かわいいね。

…ごくっ…。はあ…はあ…はあ…。

そんなにお姉さんとセックスしたいんだね。お姉さんのオマンコに、オチンチン挿れたいんだね…っ。

…見て？

お姉さんのオマンコ、ここだよ。ここに今から、僕のオチンチンが入るんだよ。…ふふっ、すごい見てる…っ。オマンコ初めて見るもんね？女の人のここ、どうなってるのかもっとよく見たいよね。

顔近づけて…もっとよく見て、お姉さんの、オチンチン入れるための穴。でも、触っちゃダメ。あとでいくらでもオチンチンでかき回せるんだから。…ね。

オナニー、すごく早くなってる。オスとしての本能なのかな？

目の前のメスに種付けすることで頭いっぱいになってるんだ。まだ小さいのに、もうそん

なことを考えてるんだね。

…ん、もっとお姉さんのエッチな姿見たい？ お姉さんが感じてるところ、見たいの…？
そっか、もっとエッチなオカズが欲しいんだね。

じゃあ、お姉さんも僕を見てオナニーするから、お互いにお互いの感じてる姿見て、気持ちよくなるう…？

…ん、く…っ、はあ、…んっ、あ…、やん…っ、はあ、ん…。

どう？お姉さんのオナニー。とってもエッチでしょ？…あはあ♡、見てる見てるっ♡オスの目でお姉さんのこと見てる…っ♡

はあ…あっ、あっ、ああ…っ、きもち…っ、やあ、んん…っ。

くちゅ、くちゅって音出てるのわかる？オマンコの音、ぴちゃ、ぴちゃって。

僕のかわいい姿見てたら、もうとろっとなだよ…♡

…ふっ、ふっ、んく…っ、あう、あう、はあ…っ。

はあ…、かわいい…。かわいい…っ、僕、すっごくかわいいよ…♡

…え、もう、出ちやいそう？ 白いおしっこ、ぴゅっぴゅしちやいそう？

じゃあ、おちんちん止めて。…ごめんね、苦しいね。

でも…するんでしょう？お姉さんとセックス。じゃあ、ぴゅっぴゅはお姉さんの中でした方が気持ちいいよ。

ね…、じゃあ、セックスしようっか♡

僕の初めて、お姉さんにちょうだい。お姉さんの初めても、僕にあげるから。

…うんっ。じゃあちよっと狭いけど、浴槽に寝そべって。

お姉さんが上からオマンコにオチンチン、挿れるから。

よいしょ…、ん…。

下からよく見えるでしょ、お姉さんの恥ずかしいところ。このままお姉さんが腰下ろしたら、オチンチン入っちゃうね。

…じゃあ、腰下ろすね。オチンチン、手で立てておいて。

…ん、ほら、オチンチンの先、オマンコに当たったよ。このまま…ズブズブ…、はあ…っ、ああっ。

ん…奥まで…っ、しっかり入ったね。

見てみて、オチンチンがオマンコに入ってるどころ。…これがセックスだよ。

オマンコの中、あったかくて気持ちいい？ぬるぬるしてて気持ちいい？

僕の気持ちよさそうな顔…やだ、可愛い…っ♡ホントに可愛い…っ♡

たっくさん可愛がつてあげるからね。お姉さんが腰振るから、僕は動かなくていいからね
…っ♡セックスの気持ちよさ、かみしめていて…っ。

いくよお…っ。

…んっ…んっ、ああ、あ、ああ…っ♡気持ち…♡

ああ…っ、やあ…っ、んっっ♡んっっ♡

大好き…っ、これ大好きい…っ♡やっ、あっ、あっ、あんっ♡
腰、ガンガン振られて…♡、僕、お姉さんに犯されてるんだよ…♡
ああ、きもちい…っ、僕のオチンチン硬くてきもちい…っ♡僕、可愛い…っ♡んん、好き
いっっ♡

またちゅうしよお？♡お姉さんとセックスしながらチュウしよお？…んん…ちゅううう
うっ♡ちゅっ、ちゅっ♡

愛してるよ、僕のこと…っ♡

ん…ちゅぷ、あゝえ、れろれろれろ。

ジュぷっ、ジュぷっ、くちゅっ、あゝろっれろれろっ♡

最近気づいたことなだけどね…っ、ホントはイケないことかもしれないけど、お姉さん
…本気で僕に恋してるの…っ♡

じゅぶ、じゅぶ…ピチャちゅば…。

僕に、私のこと受け入れて欲しい…っ。僕も私のこと、本気で愛して欲しい…っ。

ちゅばっ、ちゅうっ…ん…っちゅちゅちゅ…っ。

この気持ち…もう抑えられない…っ♡今までこんなに人を好きになったことなんてない
からね？どうすればいいか、わからない…っ。

好きだよ…っ♡好きだよお…っ♡

精子出そ？精子、ぴゅっぴゅ出ちやいそう…？♡

好きなもの、お姉さんの中でぴゅっぴゅしていいからね…っ♡

お姉さんの中で気持ちよく、果てましようね…っ♡

…んっ、んっ、はあ…っ♡ いくよ？準備いい？♡

いくよお…っ、せえのっ♡

ぴゅっぴゅっぴゅううううっ♡♡

……っはあっ♡

…はあ、…はあ、はあ…っ。

お腹、熱い…。

大好き、僕…。

どうしようもない程、愛してる…。

もし…もし、無事に第二の地球にたどり着けたらね…、

私、僕の家族に、なりたいな…。

■トラック∞超新星の残り香

僕…僕、起きて。ごめんね、ぐっすり寝ていたのに。 …あのね、その…。僕は超新星爆
発って言葉、知ってる？

…うん、大体あつてる。お星さまが寿命を迎えるときに、大爆発しちゃうこと。

落ち着いて聞いてね。

宇宙船の、進行方向にある星がね…。

…っ。

…うん、しちゃったみたい。

丁度あの…青白い星。光の速さが遅いせいでまだそう見えないけど…、そのうち、目で見えないほど明るくなると思う。

それで、どうなるかっていうと、ガンマ線っていう電磁波と、超高速の岩石が宇宙船めがけて飛んでくるの。

ガンマ線はね、体に受けちゃうと…被曝して、凄く悪影響を受けるの。

それでね、今すぐに問題になってるのが、岩石の方。

宇宙船に穴が空いちゃったら一巻の終わり。

今、メインバッテリーのほとんどの燃料を使って、全力で星とは逆側に逃げてるけど…元々の宇宙船の速度が速すぎて、方向転換がうまく行っていないかもしれないの。

だから…どうなるかは正直運次第…。

少なくとも、あの星が爆発するのが見えちゃったら確実に岩石がこっちまで届くから、本当に危険。

今のうちに宇宙服着て、光ったら床に伏せて。

…はあ、…はあ…。

…僕、着れた？

よし。…ん、ごめん、お姉さん、ちょっと手が震えちゃって…っ。上手く着れない。

…ん、ありがとう…僕はいつでもやさしいね。

…ふう。…ごめんね、こんな時こそお姉さんが落ち着いていなきゃあ、お姉さん失格だよ。ね。

…はあ、…はあ。

…ちゃんと、逃げられていますように。…光りませんように…っ。

…。

…えっ。

光った…。

伏せて、今すぐっ。

ああ…やだ、やだ、まさかこんなこと…っ。

…！ 小遊星接近警報…っ。

衝突まで30秒っ。

大丈夫、大丈夫だから。お姉さんの所においで。

…く…っ、う…っ。

怖くないよ、絶対、当たらないから…っ。…うう、ううう…、僕、好きだよ。お姉さん、僕のことすっごく大好きだよ。

衝突まで、あ、あと、10びょう…っ。

…ううう、神様、どうか、どうか…っ、この子をお救い下さい…っ。
この子だけは……っ。

どうか……っ。

■トラックの未来のあなたにお別れを

…ぐ…っ、はあ…っ。

…痛…っ。

…。

…はッ、僕、無事？…大丈夫？怪我してない？

…はあ。よかった…。僕にケガがなくてホントによかった。…後から痛くなっちゃった所があつたら、遠慮なくお姉さんに言ってね。

…ん？…ああ、そうだね、無重力になっちゃったね。

照明も消えてるし、多分電力が止まっちゃったんだろうね。

一回サブバッテリーを起動してから、今の状況を確認しようか。

…えっと…、しまった。衝撃でコンタクトがどっか行つた。僕、操縦桿がどっちの方向にあるかわかる？

…う、うえ…!?ああそうか、無重力のせいで上下感覚無くなつてた。…とりあえず、手すりをつたつて操縦桿に戻ろう。

…ん、しょ…っ。

僕、こっち来れる？

ん、ほら…おいで。

…よし、じゃあ重力を元に戻すから、足を床側に。衝撃に備えて。…いい？

サブバッテリー起動、照明点灯、エンジン点火、重力発生。3、2、1…

よし。次に軌道を修正するね。位置情報取得、オートパイロット起動、噴射。

…きヤッ!?ほ、方向制御不能…っ。逆噴射…。

…はあ、はあ…。こ、壊れちゃってる…。ちょ、やば、ど、どうしよう…っ。

う、うう…。ここまで来たのに…っ。

…やば、泣く。こっち見ないで。

…。

…頭撫でられたの、何年ぶりだろ。…くす、いつの間にか僕がお姉さんみたいになっちゃったね。

…僕は優しいね。そういうところもお姉さん、好きなんだよね。

…ふう。ごめんね、私とした事が取り乱しちゃった。こんなじゃダメだね。

とりあえず状況を整理しよう。第二の地球まではあと30光年。トップスピードであと一

年ってところだね。

でも今、方向の制御が出来ないから、たどり着く事ができない。

…。

…一つだけ方法があつてね、それが…空間転移って言つてね、平たく言う…アナンケまでワープして行くっていう方法があるんだけど…。

…そう、確かにそう。それなら最初から、地球の皆がその方法で行けばいい話なのよね。でも、実は…かなり代償が大きいの。

具体的に言う…時間の干渉で…ワープする距離に応じて、宇宙船内の時間が巻き戻ってしまうの。

どのくらい巻き戻るかという、10光年で3年間ちよつと、だから…約10年。

お姉さんは23だから13歳に。僕は…どうなんだろ、一応、生まれてきてるよね？

ん…記憶…？記憶はね…巻き戻った時点での記憶までしか残らないから、それまでの思い出とか…私たちもお互いのこと全部、消えちゃう。

…でもね、よく聞いて。私たち、超新星のガンマ線でかなり被爆してるから、このままだと長くは生きられないし、それに、操縦ができないからアナンケにそもそも自力で着けないの。

…。

…思い出が無くなるのは嫌？そうだよ、僕の宝物だもんね。…え…？ああ、もちろんお姉さんも嫌だよ。今までの楽しい思い出とか、頑張ってきた10年が全部無くなるんだもん。

誰だつてきつと嫌でしょう。

でも…、ね？ 死んじゃったら…もつと悲しいでしょう？ご両親だつてきつと、元気に戻つてきてくれる事を一番に願ってるんだと思うの。

だから今は、いろいろ整理つかないと思うけど、バッテリーが切れないうちに…っ、

……っ。

…もつと強く抱きしめていいよ。

…。

…。

じゃあ、行こっか。

最後に、過去の私宛に少しだけお手紙書くから少し待っていて。

よし、書けた。…こっちおいで。

お姉さんの手握つて、こっち見て。

…。

今まで楽しかったよ。お姉さんね、僕のこと大好きだよ。

ずっとずっと大好きだし、昔の私もきつと大好きになると思うっ。

…そっか、僕もお姉さんのこと好きかあ。…女の人として？

…ふふふ、嬉しいっ。…あー、この事も忘れちゃうんだね、寂しいなあ。
私も僕のこと、ほんっきの本気で男の子として好きだよ。きつと大人になったら、さらにいい男になるんじゃないかな。

…転移始まったね。それじゃあ、10年前にまた会いましょう。
オールボワール、僕。…愛してる。

■トラック10 座標…アナンケ・オゾン層直上

んん…、むにやむにや…。

…む、いててて、痛ったあ…。床で寝てたの、私…？

…？えっと、どこだ、ここ。

…宇宙船？

へ…？

…なんか、地球みたいなの見えるんですけど。

キャッ!? な、だ、誰だ…!? この赤ちゃんっ。…こ、こわ。

ま、ままー!、ままー!

…。

まま…？

いないの…？

…ん、なに、この紙…。

…ええと…拝啓、10年前の私へ…。

…。

…なに、これ。

いみ、わかんない…。

これからどうすればいいの…？

■トラック11 恋する星空〜エピローグ〜

(アナンケ到着から10年後。遅れて到着した主人公の両親に二人とも引き取られる。)

あつ、弟くんっ♪ おかえりっつ。部活お疲れさまあつ。

…おとーとくん？ ただいま、は？

ねえねえなあにー？、反抗期？ もうそんな年齢なの？

お姉ちゃん寂しいな。…ね？ ただいまって言って？

…っっっ♡

か、かか、かかか可愛い……っ♡

ギュッて、ギュッてしていっつていうかするね？ギューーっ♪
愛らしいっ、なんて愛らしいんだ我が弟よ……っ。

……えーっ？ 血の繋がりとか関係なくない？赤ちゃんの時から一緒なんだから、もう細胞レベルで私の弟でしょ。

私、戸籍でももう実のお姉ちゃんだし……っ♪

……ん、弟くん、頑張ってきた人の匂いする……♪
いい香り……。好き……。

わっ、なにーっ？急に突き飛ばして。もしかして照れちゃったの？照れ？見せて？顔。ん、赤くなってる……っ♡

ほっぺにチューしてもいい？ちゅううう……、ごめん、口が勝手に……。

……え、お姉ちゃん、鬱陶しい……？

う、うう……、ごめん、弟くんが帰ってきたの嬉しすぎて、つい……っ。
……。

あっ、お夕飯もうできてるから、手洗ってきたらバルコニーで一緒に食べましょう？

お義父さんとお義母さん、今日も遅いんだって。

今夜は少しお外寒いかな……？ でも、あったかいシチューとパンだから。

それに、今夜は……。

……くすっ、なんだと思う？それは後のお楽しみ……っ。手、洗っていらっしやい、すぐに用意するから。

おいで、こっち。

ね、空……見上げてごらん。

キラキラしてて、すごく綺麗だね。

……今日はおうし座流星群なんだって。あっ、ほらっ、流れ星。

……いつか話したよね、昔の話。10年前、ちょうど今の私たちくらいの年齢の時に、地球からおうし座を抜けて、2人でここまで来た話。

あのオレンジ色に光る星、アルデバランのすぐ真横を通り抜けたんだって。

今の私たちにはその時の記憶、一切思い出せないけど……、どんな関係だったんだろうね、私たち。

……その時の私たちは、どんな事を考えていたんだろう……。

どんなに不安だったんだろう……。

今となってはわからない事が多すぎるけど……、でも、少なくとも今……私たちがこうして健康に暮らしているのは、いつかの私たちが頑張ってくれたおかげだから。

……。

今の私たちが、彼女たちにとっての……アルデバランになれるように。

ん、また流れ星…っ。
…いつまでも、大好きな弟くんと…、
一緒にいられますようにっ。

終